

# 水産庁

プレスリリース

平成26年4月18日  
水産庁

## 今後の鯨類捕獲調査の実施方針についての農林水産大臣談話について

林農林水産大臣は、本日、今後の鯨類捕獲調査の実施方針に関する談話を発表しました。

### 農林水産大臣談話

国際司法裁判所「南極における捕鯨」訴訟判決を受け、我が国は、国際法及び科学的根拠に基づき、鯨類資源の保存・管理に真摯に取り組む立場から、今後の我が国の捕鯨政策の在り方を検討した結果「今後の鯨類捕獲調査の実施方針」を策定した。

<参考>

[「今後の鯨類捕獲調査の実施方針についての農林水産大臣談話」](#)

[「今後の鯨類捕獲調査の実施方針の概要」](#)

### — お問い合わせ先 —

資源管理部国際課  
担当者: 捕鯨班 佐々木、坂本  
代表: 03-3502-8111(内線6762)  
ダイヤルイン: 03-3502-2443  
FAX: 03-3502-0571

PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe Readerが必要です。Adobe Readerをお持ちでない方は、バナーのリンク先からダウンロードしてください。



[ページトップへ](#)

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

水産庁

## 今後の鯨類捕獲調査の実施方針についての農林水産大臣談話

平成二十六年四月十八日

国際司法裁判所「南極における捕鯨」訴訟判決を受け、我が国は、国際法及び科学的根拠に基づき、鯨類資源の保存・管理に真摯に取り組む立場から、今後の我が国の捕鯨政策の在り方を検討した結果、以下のとおりとすることとしました。

### 一 基本方針

判決は、国際捕鯨取締条約の目的の一つが、鯨類資源の持続可能な利用であることを確認しています。これを踏まえ、我が国は、今後とも関係府省連携の下、国際法及び科学的根拠に基づき、鯨類資源管理に不可欠な科学的情報を収集するための鯨類捕獲調査を実施し、商業捕鯨の再開を目指すという基本方針を堅持します。

### 二 平成二十七年度以降の鯨類捕獲調査について

平成二十七年度以降の南極海及び北西太平洋の鯨類捕獲調査については、本年秋ごろまでに、判決で示された基準を反映させた新たな調査計画を国際捕鯨委員会科学委員会へ提出すべく、関係府省連

携の下、全力で検討を進めます。その際、内外の著名な科学者の参加を得るとともに、国際捕鯨委員会科学委員会のワークショップでの議論、他の関連する調査との連携等により、国際的に開かれた透明性の高いプロセスを確保します。

また、国際司法裁判所も「遺憾な妨害活動」と判示した反捕鯨団体による不法な暴力行為については、調査船団並びに調査員及び船員の安全を確保する観点から、関係府省連携の下、新たな調査計画に合わせた対応策を然るべく検討します。

### 三 平成二十六年年度の鯨類捕獲調査について

(一) 南極海においては、判決に従い、第二期南極海鯨類捕獲調査（JARPA II）を取り止めます。

(二) 北西太平洋鯨類捕獲調査においては、第二期北西太平洋鯨類捕獲調査（JARPN II）について、判決に照らし、調査目的を限定するなどして規模を縮小して実施します。

(三) なお、平成二十七年度の調査計画の策定を踏まえつつ、判決の趣旨も考慮し、北西太平洋におけるDNAの採取などの非致命的調査の実行可能性に関する検証の実施など、必要な対応策を講じます。

# 今後の鯨類捕獲調査の実施方針の概要

## 1 基本方針

- ・ 鯨類は重要な食料資源として、科学的根拠に基づき持続的に利用していくべきとの考え方に基づき、商業捕鯨の再開を目指す方針を堅持。
- ・ 国際司法裁判所（ICJ）判決の趣旨を踏まえ、鯨類捕獲調査を実施。

## 2 平成27年度以降の鯨類捕獲調査について

- ・ 南極海及び北西太平洋調査は、新たな計画を平成27年の国際捕鯨委員会（IWC）科学委員会に提出し、実施。
- ・ 新たな調査実施までに、反捕鯨団体による妨害活動への抜本的な対策を検討。

## 3 平成26年度の鯨類捕獲調査について

- ・ 南極海は捕獲調査は行わず、目視調査を実施。
- ・ 北西太平洋は、目的を限定し、以下の規模により捕獲調査を実施。
- ・ また、DNA等の採取など目視調査以外の非致命的調査の可能性について検証を実施。

(参考)

沿岸調査	ミンククジラ	120頭	→	100頭程度
沖合調査	ミンククジラ	100頭	→	中止
	ニタリクジラ	50頭	→	20頭程度
	イワシクジラ	100頭	→	90頭程度
	マッコウクジラ	10頭	→	中止

※捕獲頭数に関しては、今後科学者の意見を聴取し、精査の上確定する。